

## (参考) 近隣都市・人口増加都市在住者への意向調査

奈良市では、移住・定住促進を目的に、平成 30 年度にアンケートを実施しました。

奈良市の近隣都市や近畿圏の人口増加都市を中心に、5,000 名から回答を徴取。

「自然環境」「文化・芸術」「歴史遺産」を評価される方が「奈良市に住みたい」と思っている一方で、「奈良市に住みたくない」と回答された方の理由としては、「交通の利便性が悪い」というイメージがあるということが判明しました。

この結果を参考に、シティプロモーション系の職員が紙面の構成・編集を行いました。

調査日：平成 31 年 2 月 21 日（木）～2 月 25 日（月）

調査対象エリア：

エリア		回収実績
奈良県	生駒市	250
	大和郡山市	216
	天理市	124
京都府	京田辺市	164
	相楽郡精華町	74
	木津川市	172
兵庫県	明石市	550
	西宮市	930
大阪府	茨木市	561
	吹田市	740
	豊中市	780
三重県	鈴鹿市	441
合計		5,002

調査対象年代：25 歳～49 歳の男女

設問数：5 問

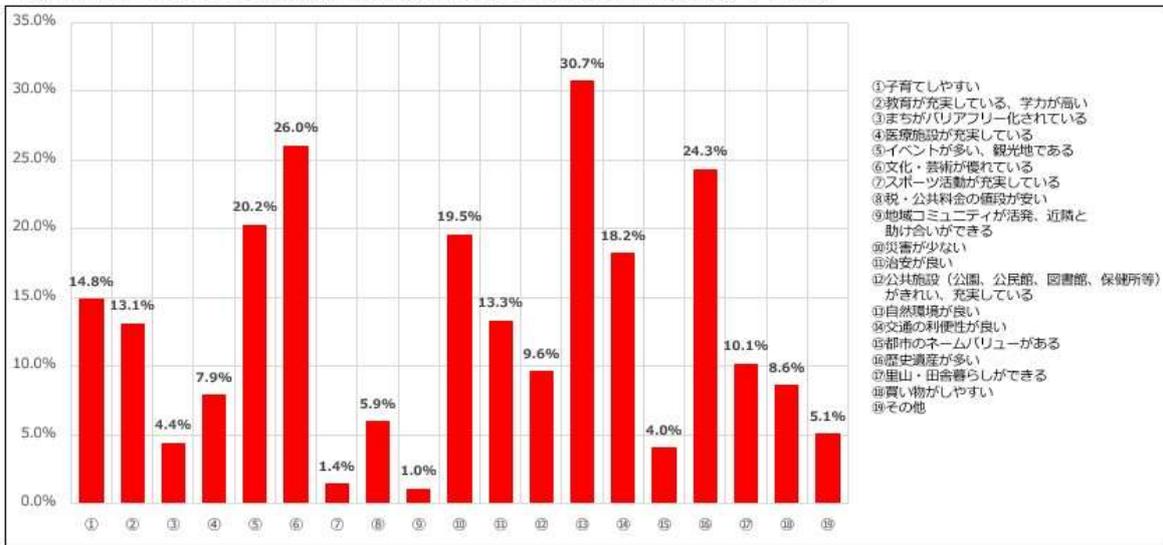
1. もし自由に引っ越しできるとしたら、「奈良市」に住みたいと思いますか。
2. 奈良市に住みたい（住みたくない） or 今の居住地に住み続けたいと思う理由に近いイメージをお選びください。
3. お住まいを探す際に、どんな媒体で情報を探しますか。
4. 今お住まいの家に住むことになったきっかけをお選びください。
5. 引っ越し前に、引っ越し先の地域で重視するものをお選びください。

調査結果：

<p>奈良市に住みたいと思う方の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として「自然環境が良い (30.7%)」「文化・芸術が優れている (26.0%)」「歴史遺産が多い (24.3%)」という理由が多い。(関西圏の人口増加都市も同様)</li> <li>近隣市町村では、生駒市・大和郡山市・天理市在住者は奈良市の方が「交通の利便性が良い」と回答。</li> <li>25～29歳の層では、奈良市は「治安が良い」という回答が約3割を占め突出した。</li> </ul>
<p>奈良市に住みたくないと思う方の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>奈良市に住みたくないと思う方は、全体として「交通の利便性が悪い (50.4%)」が突出。</li> <li>大和郡山市に至っては「イベントが多い、観光地である」という理由も突出。</li> <li>鈴鹿市に至っては、「そもそも奈良市を知らない」という回答も多く、隣接県である三重へのPRが薄い。</li> </ul>
<p>現居住地が良いと考える方の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「交通の利便性が良い (48.0%)」、「治安が良い (33.7%)」、「買い物しやすい (31.6%)」、「子育てしやすい (30.1%)」の回答が多い。</li> <li>「子育てしやすい」に至っては、人口増加都市では明石市が、近隣市町村では生駒市が最多。</li> </ul>

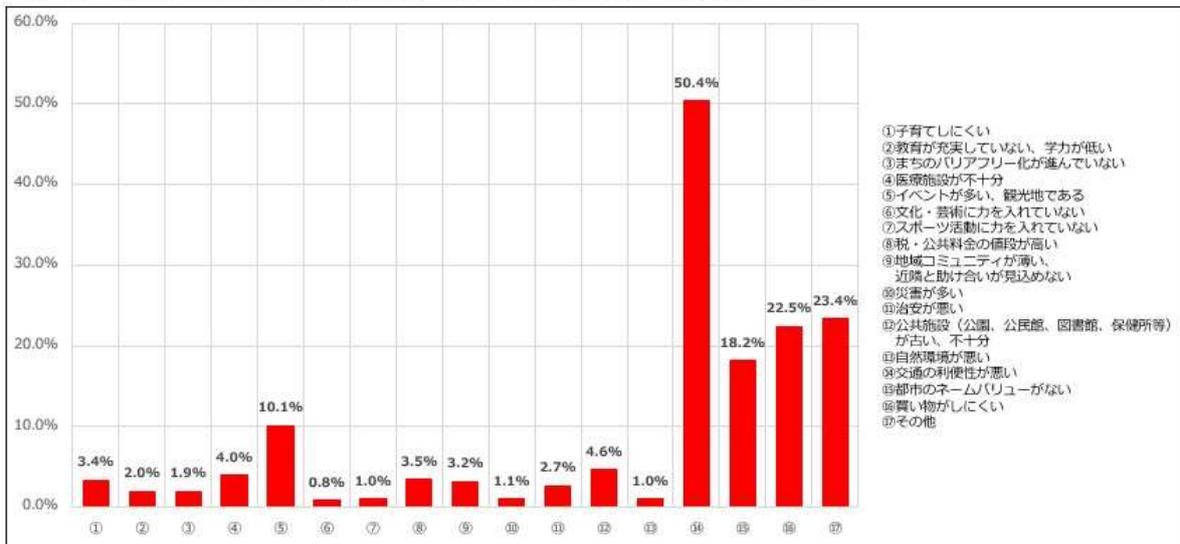
■Q2-A 奈良市に住みたいと思う理由に近いイメージをお選びください。(回答は3つまで) 【全体】  
【Q1で「はい」と答えた方】

【補足】本質問は回答者によって回答した数が異なる(1~3つ)ため、各項目ごとに回答数の割合を示した。(項目の回答数 ÷ 回答者数)



■Q2-B 奈良市に住みたくないと思う理由に近いイメージをお選びください。(回答は3つまで) 【全体】  
【Q1で「いいえ」と答えた方】

【補足】本質問は回答者によって回答した数が異なる(1~3つ)ため、各項目ごとに回答数の割合を示した。(項目の回答数 ÷ 回答者数)



■ Q2-C 今の居住地に住み続けたいと思う理由に近いものをお選びください。(回答は3つまで) [全体]  
 【Q1で「今の居住地のままが良い」と答えた方】

【補足】本質問は回答者によって回答した数異なる(1~3つ)ため、各項目ごとに回答数の割合を示した。(項目の回答数 ÷ 回答者数)

